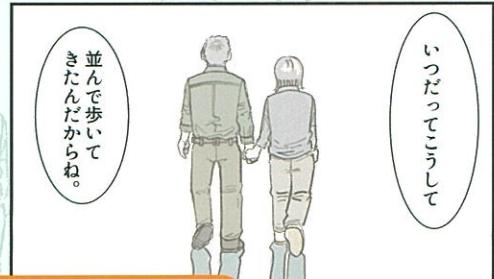
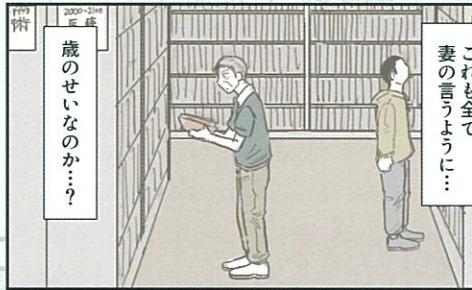


ここから
START

なんだか最近、妻の様子がおかしい ふらつき、物忘れ…私が知った妻の病気とは？



◀詳しくは裏面へ

最近、歩きにくそう、歩くのが遅くなった、数ヶ月前まで元気だったのに…

ご自身や、ご家族などにそう感じる方が身近にいたら、「特発性正常圧水頭症(iNPH)」を疑ってみてください。

iNPH(アイ・エヌ・ピー・エイチ)は何らかの原因で頭蓋内に脳脊髄液が溜まり、脳が圧迫され、「歩行障害」「認知症」「尿失禁」などの症状が出る病気です。

治療で症状が改善するため「改善できる認知症」として知られており、早期発見により「転倒予防できる」と注目が高まっています。

こんな症状はありませんか？

認知症



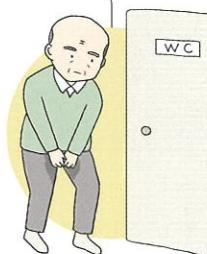
集中力がない・物忘れがあるなど

歩行障害



よく転ぶ・歩行が不安定など

尿失禁



トイレの回数が増えたなど

開脚や小刻み、すり足には特に注目を！

3つの症状のうち、iNPHの最も特徴的な症状が「歩行障害」です。
小股でよちよち歩く、少し足が開き気味で歩く、ひざが上がらずにすり足で歩くなどの歩き方や、ふらつく、よく転ぶといった症状は、認知症が現れる他の病気と区別するポイントにもなります。



気になる症状をセルフチェック！

1つでも ✓ が入ったらiNPHの可能性がありますので、かかりつけ医、あるいは専門医(脳神経外科・脳神経内科)を受診しましょう。

状態

- ひざを上げづらい、小刻みに少しづつ歩く
- 少しガニ股で不安定な歩き方になる
- つまづきやすくなったり、不意に転んでしまうことがある
- 歩く時に、第一歩が出なかったり、床に張り付いたような感覚がある
- 歩くことができない、または、立つと不安定である

症状のタイプ

- 注意力、集中力を維持するのが難しい
- 最近、物忘れが始まっている
- 日ごろ習慣としていることや趣味などをしなくなった
- 少し怒りっぽくなっている

尿失禁

- 最近、トイレが非常に近い
- おしっこを我慢できる時間が非常に短くなった(特に夜間)
- おしっこを漏らしてしまうことが多くなった

その他

- 表情が乏しくなった
- ぼーっとしている
- 声が小さくなっている
- 食事をとるのに時間がかかるようになった



症状を動画で確認

「iNPH」を見逃さないで！ 早期発見が重要です

医療法人社団協友会 吉川中央総合病院 脳神経外科

林 伸吉

「iNPH」は、脳脊髄液の流れを良くする治療によって症状の改善が期待できるため、「改善できる認知症」として知られています。また、症状が進み、転倒するようになる前に早期発見・治療できると、転倒予防にもつながります。iNPHは日本の高齢者人口の約1.1%(約37万人)の患者さんがいると言われており、身近な病気です。最近歩きにくくなったり、物忘れが始まったり、頻尿があると感じたら、老化だからと決めつけず、iNPHを疑ってみてください。

もしかしたら…
と思ったら

ご相談は

「高齢者の水頭症コールセンター」へ

0120-279-465
受付時間 平日8:00~20:00 つなぐよろこび

詳しくは

「iNPH.jp」へ

INPH

セルフチェックや病院検索も

検索



Integra Japan(インテグラ ジャパン)株式会社
コッドマン スペシャルティ サージカル

〒107-0052 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂桜坂ビル9F 03-6809-0235(代表)

©Integra Japan K.K. 2023 1782189-1